

# ウナギの想いを探る 名古屋シンポジウム

主催：森里海を結ぶフォーラム

会場：名古屋港ポートビル 4F 講堂  
(名古屋市港区港町1-1-9)

## 今、なぜニホンウナギ？

身近な絶滅危惧種であり、  
悠久の時を通じて故郷の深海と育ちの川(森)を  
行き来するニホンウナギの生態に注目し、  
足下の水境にたくましく生き続け、  
彼らが絶滅危惧種に追い込んだ私たちに  
語りかける“共に生きよう!”との声に  
謙虚に耳を傾けることが求められています。  
折しも『ウナギ読本』(花乱社)が刊行され、  
その執筆者と地元の皆さんの協力を得て、  
ひつまぶし発祥の地名古屋で“ウナギの想いを探る”  
シンポジウムを企画しました。

2026年

入場無料

5/17(日)

13:15 開場・受付

13:30 開会の挨拶 田中 克 (森里海を結ぶフォーラム 代表)

13:40 趣旨説明 三倉 志仁 (瀬戸SOLAN学園初等中等部 教諭)

13:50 第1部 講演

「ニホンウナギの行動・生態を探るバイオロギング」三田村 啓理 (京都大学大学院農学研究科 教授)

「ウナギってすごい生き物！ウナギと楽しく遊ぶ」阿部 夏丸 (児童文学作家)

15:00 第2部 現場からの報告

「石倉カゴによるウナギモニタリング調査」伏見 直基 (いはらの川再生PJ 代表)

「ウナギの雌化とその意義」稲葉 博之 (愛知県水産試験場 主任)

「ウナギの養殖を巡る諸問題」新美 貴資 (水産ライター)

16:00 質疑と意見交換 (進行役：田中 克)

問題提起 「なぜ今ニホンウナギ？ウナギとともに生きる未来」

16:25 閉会の挨拶

16:30 閉会

